

0. はじめに

日本の現状…人口減少社会 高齢化の進行 格差社会 =これまでの成長モデルの見直し
地球環境など世界規模の課題の重要性 発展途上国の成長 ヒト、モノ、カネのグローバル化
=日本のみならず国際的な視野でものをみる必要性 世界基準で通用することを意識

将来を展望し、自ら考え、社会に他人に自分に働きかけることが重要
= “人生について考える” “時代の先端を知る” “学びの意欲や質を高め、将来につなげる”

そのために…

「しっかりとした学習基盤」
「学びへの興味／考える機会や体験による深化」
「知の最先端の体験／生きた声からの学び」
「学びがいきる実感／学ぶ楽しさ・意欲」

相乗効果

大人としての“基礎”をつくる = しっかり足元を固める → 未来への原動力に
若くて多感な高校時代 = 生きた体験で人生づくり → 未来へのイメージ・意欲を今後
まだまだ未知のチャンスがある = 自分からチャレンジ → 未来を拓く飛躍する人材に

【参考】これからの社会で活躍できる人材 ～ “社会人基礎力”（経済産業省など提唱）

「前に踏み出す力」：主体性、働きかけ力、実行力

「考え抜く力」：課題発見力、計画力、創造力

「チームで働く力」：発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

1. キーワード

「未来をつくる次代のトップリーダーを育成」

～3つの柱～

- ① 「きめ細かくしっかりと学ぶ」
- ② 「主体的かつアクティブに学ぶ」
- ③ 「最先端の研究に触れ、意欲を高めて学ぶ」

2. “特色”についての考え方

人生には多くの出会いがある。経験を重ねること、学ぶことで、新たな発見や新たな道を見つけることができる。15歳、中学3年生。あなたのいまは、そしてあなたの未来は…

各高校で多くある特色例

- ・かなり特化された「分野」や「職業」に関連深い学習を“特色”とする
- ・大学の研究を先取りし、ピンポイントを絞ってそこを深くやる「学術研究者」養成を“特色”とする

あなたが「人生をかけてこれをやりたい」、もしそれがいま見ついているなら大変素晴らしいことです。しかし「まだ見つかっていない」「まだわからない」そういった人が多いはず。

そう、まだ15歳、人生にはまだまだ出会いがあるので。チャンスはここからなのです。

兵庫高校総合科学類型では、「この分野に絞って」「文系／理系を絞って」などを、15歳のいま決めるのではなく、高校での学びや経験をもう少し積んで、そこから大きな道を見出してほしい、そう願います。だからこそ「体験」や「最先端を知ること」での“出会い”を大切にします。高校3年間で「これをやってみたい」と思えるものを、ぜひ一緒に見つけていきましょう。

ところで、“大学での専門的な学びは大学で勉強すればよい”と我々は考えます。「もっと知りたい」意欲、背伸びも大切です。しかし、わけもわからず高度なものをただ「使える」ことよりも、高校で勉強することをより深くしっかり「身につける」こと、それが“未来のホンモノの力”になる、そう信じています。やはり高校での幅広い学びがベースとなって、初めて大学での学びが生きてくる、そう考えます。

兵庫高校総合科学類型では、「高校学習をより深めること」を重視します。目の前の題材でも本当に大切なものは得られる、そこをじっくり考え抜くこと、物事の法則や背景をつかむこと、それこそが「未来を切り拓く力」につながるのです。だから「体験」や「じっくり考える時間」も大切にします。学力をしっかりとつけること、それは未来への大きな足がかりとなります。3年間でともに成長していきましょう。

兵庫高校総合科学類型の特色

- ・高校での学習内容を“より深くじっくり”学ぶ → 足腰を鍛える = 未来をつくる大切な“基礎”
- ・“いま”を“アクティブに”学ぶ 最先端の知に触れる → 「もっと学びたい」「これを学びたい」

3. 選抜について（県教育委員会公表）

実施時期	2月中旬（コース・専門学科等の推薦入試と同じ日）
募集定員	各学年募集定員の15%以内（最大は40名）
検査	面接を実施 必要に応じて実技検査、小論文（作文）を実施[募集要項で確認]
合否判定	面接および実施した検査等の結果と 調査書を総合して合否を判定

さあ「未知なる道探しの旅」まもなく船出です ぜひ一緒に出発しよう！ 待っています！

【参考】「進路探究プロジェクト」について（今年度実施の進路・キャリアに関する取り組みを紹介）

<1年>

キャンパストライアル（11月） 神戸大学を訪問 大学生とともに実際の授業を体験する

キャリアサポーターから直接話しを聞く会（7月）

大学教授や社会人の方を招いての講話（心理、工学、農学、法学、マーケティング、理学系など）

<2年 校外>

東京みらいフロンティアツアー 8/6(木)~8(土)（2泊3日） 19名参加

第1日 東京大学オープンキャンパス

（最先端の学問ミニ講義、学生による研究紹介や進路ガイダンスなど）

第2日 東大医科学研究所(新型インフルエンザの研究)

明治大学農学部（クローン技術・人工授精）

国立環境研究所（地球温暖化への取り組み）

筑波大学（スーパーコンピュータ 宇宙ビッグバン）

国連難民高等弁務官事務所（難民生活の現状と今後）・世界銀行(発展途上国の支援)

その他 東京で活躍される第一線の方々との懇談会 など（第3日 班別行動）



大阪大学 研究室一日体験 8/27(木) 理系 65名参加予定 ミニ講義や実験など（本校向け体験）

[1]基礎工学研究科（豊中） バイオメカニクス、機械材料、ヒューマンインターフェイス 3研究室

[2]工学研究科(吹田) 熱エネルギー、環境デザイン、環境生物、都市デザイン、レーザー医療 5研究室

京大キャンパスツアー 10/9(金)予定 京大訪問 キャンパス案内や研究紹介を京大生が行う（本校向け体験）

インターンシップ（夏休み 約10名）JICA(青年海外協力隊)事務所や県庁で体験実習、プレゼンテーション

医療系一日体験（夏休み 約25名）病院や薬局などで医師、薬剤師、看護師の体験実習に参加

<2年 校内>

自然科学講演会 7/23(木) 本校 11:30~13:00 74名参加

・大阪大学基礎工学研究科機能創成専攻 和田成生 教授（生体のメカニズムの研究 医療への活用）

・岐阜大学工学部生命工学科 吉田豊和 准教授（身近な製品に使われる微生物や酵素 バイオの今後）

「ワンダフルバタフライ」 本校 7/17(金) 11:00~13:30 京都教育大学 村上忠幸 教授 生徒 45名参加

生きたチョウの秘めた性質を科学で解明 生徒が自分たちの手でチョウを産卵させることに挑戦

卒業生による大学・学部説明会 9/9(水)予定

卒業生が集い、大学授業や研究、大学生活、受験勉強をアドバイス（東大、京大、阪大、神戸大など予定）

医学講演会 9/18(金)予定 本校卒業生で医学部・薬学部への進学者が、その魅力や心構えを講話

「校内進路ガイダンス」(難関10大学を中心に)

神戸大…7/18 約100名参加 阪大(帝大)…7/22 約80名参加 京大(東大)…7/25 約30名参加

入試の特徴と今後の対策について、過去の事例や先輩の体験談をもとに説明

「難関大を目指す進路講演会」（土曜講座）外部講師を招いて志望校突破に何が必要かを講演